

# まつさか市議会だより みてんか

vol.75  
2019.6.1

マジメで  
面白くない  
報告ですが…

「みてんか」は電子  
ブックやPDFでも  
ご覧いただけます。



## — CONTENTS —

平成 31 年度当初予算・・・ P2  
代表質問・・・ P8

議会報告会・・・ P22  
政務活動費の執行状況・・・ P27



# 松阪市の平成31年度 当初予算が決まりました!!

平成31年度松阪市一般会計予算案(第1号)など  
60議案を可決・同意・賛成

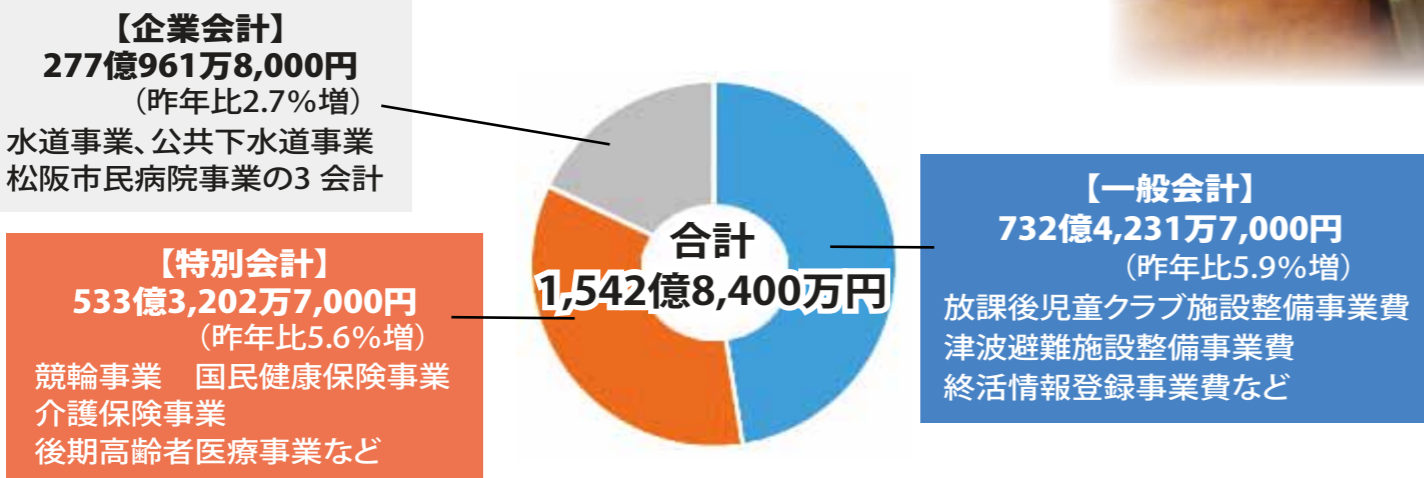
平成31年2月定例会は、2月19日から3月25日までの35日間の会期で開かれ、市長の市政に対する所信と平成31年度当初予算と30年度補正予算などについて審議されました。定例会の初日には、市長の7つの公約に基づく振り返りと38議案が上程され、代表質問は2月26日、28日、3月4日、6日、8日と計5日間で行われました。3月6日には14議案と請願が追加上程され、最終日の25日には、議案60件、請願2件、報告6件と発議2件が討論・採決され、60の議案は原案通り可決しました。継続審査中の平成30年請願第6号は、賛成多数で採択となりました。

市議会が  
市の予算を  
チェック



▲ 2月定例会の様子

## 平成31年度当初予算内訳



### 用語解説

一般会計…教育・福祉・行政のサービスや道路・公園の整備など市の行政運営に使う予算  
特別会計…競輪事業・国民健康保険事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業・簡易水道事業・戸別合併処理浄化槽整備事業・農業集落排水事業・住宅新築資金等貸付事業など特定の目的に使う独立した予算  
企業会計…独立採算の水道事業・公共下水道事業・松阪市民病院事業に使う予算

前年度より

約76億6,471万円増

今年度予算の特徴としては、市の貯金である財政調整基金50億円を使い、借金である公債費・元利償還分を92億円とし、市債残高を抑えたことです。この件について質疑は集中しました。

また、津波避難タワーの整備や床上浸水ゼロ対策・国道166号沿い崩落災害対策という防災・減災対策費や「豪商のまち松阪観光交流センター」を中心とした観光関連費、「健康センターはるる」、保育士・幼稚園教諭の確保や施設整備等の子育て支援費、地域医療を含めた地域包括ケアシステム関連費、水道料金や水道施設・管路の耐震化などの上下水道費など命や暮らしのための事業への質問が集中しました。

### 代表質問&関連質問

No.	内容	代表質問								
		企業会計	特別会計	一般会計	公債費	元利償還分	日本丸産院	松阪会	しなと会	真珠クラブ
1	財政	●								
2	防災・減災			●	●	●	●	●		●
3	観光	●								●
4	子ども支援	●								●
5	地域包括ケア									●
6	上下水道事業									●
7	空き家対策									●
8	住民自治会組織									●
9	市民病院	●								●
10	フルマラソン	●								●



## 2月定例会で主な賛成・反対討論のあった議案等について

議案  
第1号

### 平成31年度松阪市一般会計予算

反対  
討論

本議案に反対の最大の理由は、消費税の10%への引き上げ予算ということである。自治体としての負担、市民負担増の予算であるということ、また、マイナンバー制度の問題点や国民所得を国が掌握するための狙いは言わずに、利便性のみが強調されるやり方には反対である。

賛成  
討論

①平成31年度事業は、市民の生命・財産を守り、市民福祉の向上のため、さらには松阪市の発展のための事業として事業達成に向け鋭意努力を期待するところであり、さらなる市民福祉の向上のために、平成31年度事業においても竹上市長を中心に着実に実行し、前に押し進めていただくことを期待し、賛成する。

②自然増を図る主な施策とした子育て環境の充実・発展と社会増を図る施策として期待する若者就労対策協議会や移住施策、この自然増と社会増の施策は表裏一体であることから、どちらも一緒に押し進めていただき、総合計画の最終年度として、子育て・共働きランキング1位を目指し御尽力いただくことをお願いし、賛成する。

③今後の財政状況を踏まえ、市としての選択と集中の考えを用い、経費の削減と事業の効率化を図り、メリ張りのある行財政運営を徹底され、健全財政を堅持した予算執行に期待することから賛成する。

賛成多数  
可決

請願  
第1号

### 「消費税増税中止を求める意見書」

反対  
討論

消費税増税による子育て世代への影響緩和等社会保障の機能が全世代に広がることになる。日本経済・国民生活の停滞を引き起こす制度の見直しを中止することは到底認められないため反対する。

賛成  
討論

請願者が来ているにもかかわらず質疑がなかったことは残念。住民福祉の向上と地位経済の発展のために少なくとも今回の10%増税をやめるように国に意見をあげてほしいというこの請願に賛成する。

賛成少数  
否決

平成30年  
請願  
第6号

### 閉会中の継続審査中の請願第6号「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨んでいただくこと等を求める請願書

反対  
討論

「くろすけ」自体は文化財でもなく、観光資源でもなく、また市民生活に直接影響するものでもないため、これに対して多額の予算をかけて保存する意義というのは疑問である。また、議会として松阪市に対しくろすけの保存活用に責任を持って臨むよう求めていただくことを求めるとあるが、くろすけが今後どのような状況になるかわからない中で、それを議会として、市に保存活用を求めていくということには賛同しかねるためこの請願には反対である。

賛成多数  
採択

平成31年  
2月定例会

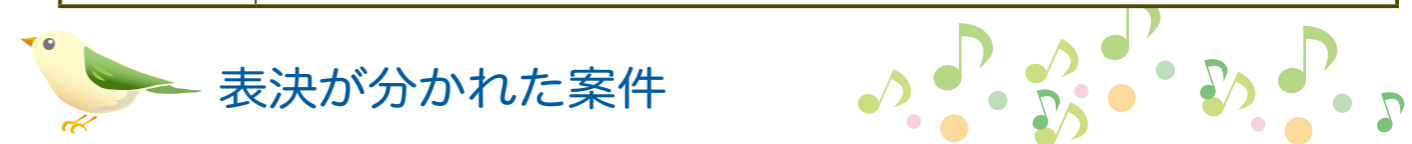
## 議決結果一覧表

全会一致で可決、同意、賛成された案件

議案番号	案 件
議案第2号	平成31年度松阪市競輪事業特別会計予算
議案第3号	平成31年度松阪市国民健康保険事業特別会計予算
議案第4号	平成31年度松阪市介護保険事業特別会計予算
議案第5号	平成31年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計予算
議案第6号	平成31年度松阪市簡易水道事業特別会計予算
議案第7号	平成31年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計予算
議案第8号	平成31年度松阪市農業集落排水事業特別会計予算
議案第9号	平成31年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算
議案第11号	平成31年度松阪市公共下水道事業会計予算
議案第12号	平成31年度松阪市松阪市民病院事業会計予算
議案第13号	松阪市交通安全対策事業基金条例の廃止について
議案第14号	松阪市職員退職諸給与支給条例等の廃止について
議案第16号	松阪市行政不服審査条例の一部改正について
議案第17号	松阪市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について
議案第18号	松阪市地域集会所条例の一部改正について
議案第19号	松阪市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第20号	松阪市委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

議案番号	案 件
議案第 21 号	松阪市手数料条例の一部改正について
議案第 22 号	松阪市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について
議案第 23 号	松阪市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
議案第 24 号	松阪市国民健康保険税条例の一部改正について
議案第 25 号	松阪市廃棄物処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第 26 号	松阪市コミュニティ交通条例の一部改正について
議案第 27 号	松阪市営住宅条例の一部改正について
議案第 28 号	松阪市公民館条例の一部改正について
議案第 29 号	松阪市総合体育館条例の一部改正について
議案第 30 号	松阪市水道事業及び簡易水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部改正について
議案第 31 号	松阪市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について
議案第 33 号	松阪市松阪市民病院医師等修学資金貸与条例の一部改正について
議案第 34 号	市道路線の認定について
議案第 35 号	市道路線の廃止について
議案第 36 号	市道路線の変更について
議案第 37 号	財産の無償譲渡について
議案第 38 号	財産の無償譲渡について
議案第 40 号	平成 30 年度松阪市競輪事業特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 41 号	平成 30 年度松阪市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 42 号	平成 30 年度松阪市介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）
議案第 43 号	平成 30 年度松阪市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第 1 号）
議案第 44 号	平成 30 年度松阪市簡易水道事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 45 号	平成 30 年度松阪市戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 46 号	平成 30 年度松阪市農業集落排水事業特別会計補正予算（第 2 号）
議案第 47 号	平成 30 年度松阪市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第 1 号）
議案第 48 号	平成 30 年度松阪市水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 49 号	平成 30 年度松阪市公共下水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 50 号	平成 30 年度松阪市松阪市民病院事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 51 号	松阪市職員定数条例の一部改正について
議案第 52 号	平成 31 年度松阪市一般会計補正予算（第 1 号）
議案第 53 号	監査委員の選任について
議案第 54 号	人権擁護委員候補者の推薦について

議案番号	案 件
議案第 55 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 56 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 57 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 58 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 59 号	人権擁護委員候補者の推薦について
議案第 60 号	人権擁護委員候補者の推薦について
発議第 1 号	市議会議員の派遣について
発議第 2 号	地区集会所建設事業補助金に係る交付事務の調査に関する決議についての変更について
選挙第 1 号	松阪市議会議会運営委員会の委員（補充）選任について



### 表決が分かれた案件

議案番号	案 件	審議結果
議案第 1 号	平成 31 年度松阪市一般会計予算	賛成多数 可決
議案第 10 号	平成 31 年度松阪市水道事業会計予算	賛成多数 可決
議案第 15 号	消費税及び地方消費税の税率の改正に伴う関係条例の整備について	賛成多数 可決
議案第 32 号	松阪市民病院使用料及び手数料条例の一部改正について	賛成多数 可決
議案第 39 号	平成 30 年度松阪市一般会計補正予算（第 6 号）	賛成多数 可決
請願第 1 号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	賛成少数 不採択
平成 30 年 請願第 6 号	議会として、松阪市に対し、蒸気機関車「くろすけ」の保存活用に責任を持って臨んでいただくこと等を求める請願書（継続審査中のもの）	賛成多数 採択



### 表決が分かれた案件に対する各議員の賛否

議員名 議案番号	真政クラブ			松政会			公明党		日本共産党		市民クラブ		無所属の会・みらい		しなと会		会派に所属しない議員											
	坂口秀夫	堀端脩	野呂一男	中村良子	山本芳敬	大平勇	中村誠	松本一孝	谷口聖	市野幸男	米倉芳周	松岡恒雄	山本節	西村友志	殿村峰代	栗谷建一郎	久松倫生	橘大介	楠谷さゆり	中島清晴	田中正浩	西口真理	海住恒幸	赤塚かおり	深田龍	植松泰之	沖和哉	濱口高志
議案第 1 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 10 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 15 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 32 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 39 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第 1 号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成 30 年 請願第 6 号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 中島清晴は採決に加わりません。 ○は賛成した議員、×は賛成しなかった議員。



# 代表質問

平成31年度当初予算案の審議にあたり、2月定例会初日に市長から市政に対する所信が述べられました。

これに対し、会派の代表議員が、ひとりあたり50分(答弁時間含む)の時間制限の中で質問しました。

【例】所属議員3人の会派は、50分×3人=150分の時間制限となります。

代表質問のページの原稿は、本会議での発言を要約し、各会派および会派に所属しない議員自身が作成したものをそのまま掲載しています。

※会派に所属しない 沖 和哉議員は、監査委員のため代表質問を行っていません。

QRコードからは、各会派および会派に所属しない議員の代表質問を行った日の動画をまとめたページにリンクします。(別途通信料が発生します。)



## 無所属の会・みらい

### 任期最終年の竹上市政の姿勢を問う

にしぐち 西口 議員  
たなか 田中 議員  
まり 真理 議員  
まさひろ 正浩 議員  
かいじゆう 海住 議員  
つねゆき 恒幸 議員



## 市の財政運営は「安心」か

Q 市長は「任期中の借金を増やさない」との公約について、平成29年度の一般会計の市債残高が約458億円となり、就任時に比べて36億円減らしたと高らかに書いているが、財政調整基金からの繰り入れが平成30年度は30億円、31年度は50億円。基金を取り崩せば幾らでも借金が減らせる。借金を減らしたではなく、貯金を取り崩して返済に充てたと言うべきではないか。

A 財政調整基金は100億円あり、健全な財政の範囲で将来投資をしていく。また、

収支均衡の取れた財政運営を計画しているのでご安心いただきたい。

Q 将来を見据えて、財調の取り崩しにはもっと慎重であるべきではないか。

A 将来世代に対して今ある調整基金を使って投資を行う。財調はそういう性格の基金で、たくさん貯まったらいいというものではない。

## 中期財政見通しでは財源不足

Q 32年度以降も財政調整基金の繰り入れは20億円で推移していくので「ご安心ください」との市長の答弁だったが、

中期財政見通しを見ると、20億円を繰り入れても財源不足が生じる。31年度の財政調整額は0円だが、32年度は2億5,400万円、33年度は17億円、36年度は21億円と不足額が生じる。これは財政調整基金20億円繰り入れ、合併特例債も市債も込みの数字。「ご安心ください」という答弁はいかがなものか。

A 入札差金や事業実績により歳出が減額になるし、不用額が発生する。

Q 次に公債費について。公債費は対前年度比5.2%増の92億円で、財調50億円を含む繰り入れを基にしている。これは財調残高がかなりある中で可能だが、集中投資期間終了後の32年度の返済は、今年の92億円よりも多い106億円を越す。その財源をどう見るのか。

A 公債費短期償還分として54億円を計上している。この部分は地方交付税で70%の算入がある。



▲市庁舎前の「借金時計」

## 新福祉会館のあり方

Q 障がい者や支援団体が利用してきたが、施設の有効活用のため、一般の使用も図られるが、従前の利用者に戸惑いの声がある。従来使ってきた人の利便性や求めてきたことを考慮するより、有効活用という観点が先にあって本末転倒の結論を導き出していないか。

A 福祉団体が大優先という形で取り組みをしたい。



▲新福祉会館

## 松阪市の文化財行政のあり方

Q 郷土史料を保存、研究する市内唯一の施設である郷土資料室の収容能力は。

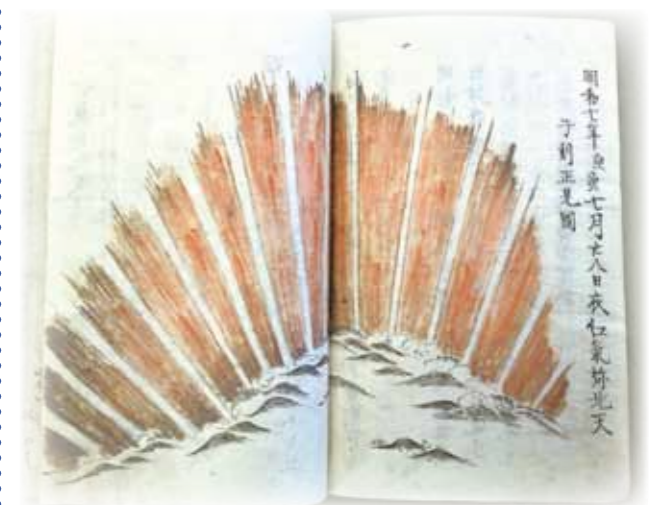
A スペースは埋まってきている状況。

Q 高齢化で家にある貴重な史料を市に寄贈したいという申し出もあるのでは。

A 史料の状態を確認した上で、なるべく受け入れを検討する。

Q 価値があると認めながらスペースの関係で受け取りを断らざるを得ない状況はないのか。

A 収蔵場所を検討していく。



▲松阪市郷土資料室所蔵「星解」。江戸時代に京都に出現したオーロラを描いた貴重な史料

### その他の質問事項

- ・フルマラソン開催に向けての現状と今後
- ・労働者施策における補助金交付のあり方
- ・森林資源管理事業費
- ・松阪市民病院に求められる役割



市民の思いを結ぶ、  
「新・未来」創生を！

にしむら ともし やまもと たかし  
西村 友志 議員 山本 節 議員  
まつおか つねお  
松岡 恒雄 議員



防災・減災

- Q 避難タワー設置後、運用のあり方の方向性や計画についての考えは。
- A 時間がある限りは浸水区域から出ることが最良で、タワー整備計画と地区防災計画を立てるまでにワークショップを開催し、タワーありきではなく一つの命を守る施設としての位置づけを地域の防災訓練等への支援でしていきたい。
- 意見 タワーにも定員キャパがあり、誰一人見逃さないというきちとした運用のあり方を地域にお示しいただきたい。



▲液体ミルク

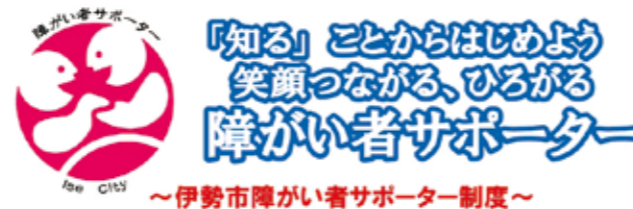
- Q 液体ミルクの災害時の供用効果が評価されている。備蓄品としての考えと家庭備蓄品への啓発、PRの考えは。
- A 公的備蓄として粉ミルクを400人の3日分の備蓄をしている。今後の動向も視

野に入れた調査研究と自助として必要な備蓄の啓発に力を入れていきたい。

- 意見 災害を受けた大ストレスの中で、水のない環境や衛生的な面を考えると絶対液体ミルク。利便性を検討ください。
- Q 災害仮設住宅建設予定地を事前に選定しておくべきではないか。
- A 国の指針や他市の配置計画、過去の災害時の課題検証も研究し計画調査の材料としたい。

障がい者サポーター制度の研究結果は

- Q 一昨年のサポーター養成の議会提案を受けて、今後どうされていくのか。
- A サポーター制度は、こども障がい者やキッズサポート等先進地・伊勢市の取り組みから日常生活のちょっとした支援の実践が障がいへの理解につながっていくところが目的であり、その検証と情報収集に努め、施策につなげていきたい。



▲障がい者サポーター制度（伊勢市）

子どもの虐待防止対策

- Q 教育委員会で年1回程度のアンケート実施に当たり、生徒に渡した段階で守秘義務が発生するが、どうか。
- A そのとおりで子どもの思いや、願いは守秘義務が絡み、生徒と学校側との信頼関係がないと成り立たないものである。
- Q 長期欠席に対する日常的な対応は。
- A 子どもたちが抱える課題は多様であり、一つ一つ丁寧に対応していきたい。
- Q 未来へと命をつなぐ189番のちゅうちょしない啓発、通報のあり方は。
- A いち早くという3桁の番号の認知度の向上、通告に対するハードルを上げていく啓発活動と出前講座等、市民の目線に触れる機会をとらえ行っていきたい。
- Q 関係機関との連携は。
- A 児童にかかわる相談に対応するため、市

の福祉、教育、児童相談所、学校、医療機関、警察等が疑義を行う検討会議もケースに応じてしている。



▲いちはやく189番へ

その他の質問事項

- ・提案型公募補助金制度
- ・給食食材の持ち帰り事案
- ・職員の不祥事に対する再教育
- ・食品ロス削減の取り組み
- ・若者定住対策
- ・認知症サポーターの組織化と役割の明確化

会派に所属しない議員

最終年度の竹上市政  
地域の小さな声にどう向き合うか

はまぐち たかし  
濱口 高志 議員



振興局での確定申告を  
嫌がる理由は

- Q 8市町は税務LANを使って確定申告している。前議会で市長は「1つの町がやっているのみ」とウソまでついて、なぜ三雲・嬉野地域振興局での確定申告をしたくないのか考えを聞きたい。
- A 失礼しました。訂正してお詫び申し上げます。松阪市は16万人で応援体制を取るのが難しい。
- 意見 全然理解できない。松阪市全域でやれと言っていない。今までやってきた振興局で

なぜやりたくないのか。市長の腹が絶対やらんと決まっているようで気分が悪い。

危険空き家へは早急に対応を！

- Q 危険空き家に関する相談が増えている。ブロック塀が一部崩れている空き家がある。このような案件に市はどう対応するのか。
- A 31年度から除去工事費の3分の2、上限25万円を補助する支援を実施する。
- Q 書類を送るだけで終わっている案件が多い。直接顔を合わせ説明してほしい。
- A 県外への対応も考えていく。



市民のくらしと安全を守ることこそ市政の役割

ひさまつ 久松 殿村 議員  
みちお 倫生 議員  
みねよ 峰代 議員  
くりたにけんいちろう 栗谷建一郎 議員



消費増税前提の予算。中止こそ最良

- Q 今回の予算は、消費税10%引き上げが前提。自治体にも市民にも負担増になるのではないか。
- A 支出面において増えてくる。歳入で消費税を上げざるを得ない。プレミアム商品券で通常業務以外の業務が発生する。
- 意見 世論では増税中止こそ最良である。

項目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
歳入	1,234,567	1,345,678	1,456,789	1,567,890	1,678,901
歳出	1,345,678	1,456,789	1,567,890	1,678,901	1,789,012
繰上金	123,456	234,567	345,678	456,789	567,890
繰下金	234,567	345,678	456,789	567,890	678,901
繰越金	345,678	456,789	567,890	678,901	789,012

◀中期財政見通し。公債費の短期償還を明記

財政調整基金がなぜ増えたのか

- Q 公債費償還を優先する財政運営が特徴。
- A 幸い財政調整基金がある。集中期間に増えた仕事について短期償還する。
- Q 100億円になる財政調整基金がなぜこんなに増えたのか。どう説明するか。
- A 貯金が増えればいいというのは間違い。先人たちががんばってきたのでこれだけの基金がある。大事に使わせていただく。

安心安全を優先する公共事業へ

- Q 浸水や風水害対策の予算増など特徴。林業の森林資源管理、流域防災対策など災害対策の公共事業と合わせ生かせないか。
- A 台風24号で国道166号の山腹崩壊が起こった。森林管理がなされていなかったことが一因と考える。崩壊箇所周辺の整備に着手していく。
- 意見 ぜひ結果を出していただきたい。床上浸水対策が具体化されたことは重要。



▲国道166号 山腹崩壊の現場

医療、介護の課題にどう取り組むか

- Q 重い負担が国保税と介護保険だが。
- A 国保税の引き下げは、市民負担を減らす大きな成果。今後も負担水準を維持していく。
- Q 地域医療構想は単なるベッド数削減ではないというが、地域包括ケアが進んでいない状況でどう考えるか。
- A 地域包括ケアが前提で論議をしていく。
- 意見 地域包括ケアが進まないのは、住民の意向が反映されていないからではないか。

県営水道の受水費引き下げ実現を

- Q 5年ごとの見直しの交渉の年となる。歴史があって、正当な理由を相手に理解されるよう取り組んでもらいたい。
- A 認識は十分持っている。内部留保資金の活用など、改定に向け協議していく。

風力発電をめぐる開発への対応

- Q 住民はノーという声をあげておられる。自治体はどう扱っていくか。
- A 反対の表明をされても繰り返されることに疑問を感じておられるということは重々承知している。住民の皆さんが安全で安心な生活が送れることが前提。行政の立場でできる範囲で努力していく。

オスプレイの常駐化は認められない

- Q 市民の安全安心とオスプレイの飛来とは相入れない問題。
- A 常駐化ということになれば松阪市の上空を飛ぶことになる。市民の安全安心という観点から常駐化は受け入れられない。そういった計画が出てくればかちっとした形で反対していく。



▶竹上市長の答弁を伝える記事

その他の質問事項

- ・観光文化施設の本格稼働
- ・蕭白特別展

竹上市政の実績と新年度への考えを問う

よねくら よしちか 議員  
米倉 芳周 議員  
なかむら まこと 議員  
中村 誠 議員  
まつもと かずたか 議員  
たにくち きよし 議員  
谷口 聖 議員  
いちの ゆきお 議員  
市野 幸男 議員



財政運営

- Q 臨時財政対策債の発行で、今回最大限に活用し、市債の短期償還を実施するとある。今までは発行には注意深くしていたと思うが見解は。
- A 対策債については、方針転換というか考え方を大きく変えた。それまで赤字地方債と呼んでいたこともあったが、基準財政需要額での元利償還金が100%算入される仕組みから、やはり地方交付税のかわりという解釈が正しいと考える。

- Q 合併特例債で、新年度予算における発行額はいくらか。また、発行残高は。
- A 充当する事業は30件で52億4,590万円を予定している。これにより、借入れ可能残高は60億円と想定する。
- 意見 60億円しか残ってない。60億円も残っているか。どちらにせよ有効利用を願う。



## 地区集会所建設事業補助金 交付事務

- Q 地区集会所建設補助金が前年度同様組まれているが、交付事務に関し、市と独自に業務を見直した事項は。
- A 改善点は、●提出された見積書の工事内容と設計分の整合性を確認。●工事見積書は2社3社で行う。●工事設計図の厳格を求めること。●工事変更の速やかな報告。●工事費の支払いを施工業者側、自治体等側の双方より確認する。●完成検査は職員2名体制をとる。このような取り組みにより適正な事業実施につなげる。

## 下水道事業の見直し

- Q 今後40年かかるとされていた、この事業を見直し、20年に。計算すると20年分500億円が削減できるとされるが、下水道整備計画から外された地域は、今後将来にわたって下水道の利用ができない地域になったということか。
- A 原則、計画区域の見直しはないと考える。しかし、将来の人口予測や想定する事業費等に著しい乖離が生じた場合や市民の意向に著しい変化が生じた場合は、計画区域の再検討も必要と考える。その場合は区域を編入することもある。

管内	全体計画面積 (ha)	整備面積 (ha)	面積整備率 (%)	処理区域内人口 (人)	人口普及率 (%)
全体	4,583.0	2,102.4	45.9	90,471	54.8
本庁	3,333.2	1,219.4	36.6	60,050	49.4
三雲	587.5	328.3	55.9	11,824	78.2
嬉野	662.3	554.7	83.8	18,597	93.0

▲平成29年度末時点での管内別整備状況

## 新最終処分場新設整備事業費

- Q 新設整備事業費6,592万3,000円が、新年度に計上されているが、その内容と経過は。
- A 建設予定地の用地買収に伴う用地測量業務および立木調査業務委託料に加えて現地測量、基準点測量業務委託料の計上である。現地測量は用地測量と重なる内容であるが、工程の短縮や経費面での効率への判断である。事業による経過は地元同意の協力を引き続き求めていく。

## 東町松江岩内線の整備

- Q 過去に道路拡幅工事計画発表され、長年未整備になっている東町松江岩内線について、何年も放置状態である。結論を示す時期ではないか。
- A 改良済みの部分から国道42号を接続する部分で、中心市街地への活性化支援や空家の増加を食い止め、安心な居住空間の創設を図る上で、欠かすことのできない重要な区間であると考えている。おおむね10年で実施する事業として検討する。



▲東町松江岩内線



▲津波避難タワー（明和町）

## どうする防災計画

- Q 五主・高須・松名瀬地区に津波避難タワーが必要とされながら高須地区が建設予定から外れているのは、なぜか。
- A 松阪浄化センターが一時避難ビルとなったことから津波の避難困難人数を超える収容人数となったため。
- Q 避難タワー整備は2基で終結か。
- A 現段階ではそういう方針である。
- Q 危険ブロック塀等除去補助金活用の申請件数と金額は。
- A 84件の申請と約637万円活用。



▲危険ブロック塀

## こども貧困対策事業

- Q 親の貧困によって子どもへの影響は。
- A 基本的に生活に困り、家族の人間関係、離別、別居や孤立、貧困の連鎖等から家庭生活が成り立たない。教育の機会が図られず就職についても低所得者層から抜け出せず貧困の連鎖となる。

## スケートパークの監視体制

- Q スケートパークにて多人数が一斉に、好き勝手に滑り出すと、使用困難になる可能性が出るが、そのための指導員など常駐させる考えは。
- A スケートボードを安全に楽しむためのマナーについて一般的なマナーのレジュメなどの配布をして、必要に応じて1人程度監視員を配置する考え。

## 学校教育、今後のプール運営

- Q 中山間地域の学校プールはほぼ40年から50年経過しているが、改修をするのか、センター化していくのか。
- A プールのセンター化は、学校間の連携や移動手段、カリキュラムなど、多くの課題がある。学校水泳や地区水泳の運営など総合的に検討が必要。具体的なことも含め研究していく。



▲粥見小学校プール



## 松阪市の人口減少問題を斬る！ ～課題は保育と若者就労の環境整備～

うえまつ やすゆき 植松 泰之 議員  
あかつか 深田 龍 議員  
ふかた りゅう 赤塚かおり 議員



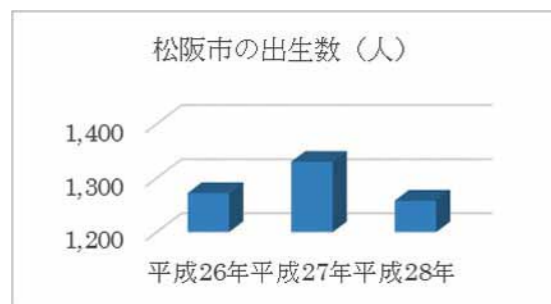
### これからの人口減少社会に必須の政策！公共施設マネジメントが遅々として進展しない…

Q 総合計画は平成31年度が最終年度。本予算はこれまでの集大成であり、総合計画に掲げた目標数値に近づけるための大切な予算。その目標は人口減少を食い止め、少子高齢社会に対応していくことだ。この点で総合戦略「松阪イズム」を市は総合計画とどう関連させ、人口動向をどう分析したのか。

A 総合戦略「松阪イズム」は人口減少の克服と地方創生を目的としたもので、総合計画に包括されるもの。市の出生数は、平成26年1,272人、27年1,330人、28年1,258人であり、少子化から抜け出せていない。息の長い形で取り組んでいく必要がある。

Q 公共施設マネジメントには平成31年度までに延床面積の8%を削減する数値目標がある。本予算で削減率はどこまで上がる見込みか。

A 2.47%の削減率になる。平成32年度に個別施設計画を公表し「どの施設をどの時期にどうしていくのか」を明らかにし、方向性を見出していきたい。



▲松阪市の出生数 (H26～28年)

### 保育にかかわる職場の環境

Q 待機児童数は。

A 実待機児童数147人。

Q 兄弟で入園している世帯は。兄弟別々で入園している世帯は。

A 兄弟で入園818世帯。そのうち24世帯が別々で入園している。

Q 以前配置していた2歳児の加配保育士がいなくなったのは。

A 保育士不足等もあり配置は行っていないが、必要と判断した場合は、再任用保育士を配置して対応を図っている。

Q 保育士の新規採用、離職人数は。

A 新規22人、復職11人、離職14人。退職者を上回る保育士を採用し、正規保育士の確保に努めている。

意見 保育現場の環境改善は保育の資質向上につながる。



▲市ホームページでも閲覧可能な保育園入園案内

### 保育にかかわる職場の環境

Q 三世帯同居・近居支援事業は、市外から転入した世帯に限られているが、市内間の転居に補助できないか。

A 事業実績および事業規模、その効果などを検証するなど研究課題としていく。

### 放課後児童クラブの状況把握を！

Q クラブみんなが一同に会して話し合いができる場が必要だと考えるが。

A 今年度はじめての試みとして、全クラブ対象の説明会を開催した。新年度は代表者会議（仮称）を開催し、クラブからの意見を聞く機会としたい。

## 真政クラブ



### 芽を育て、より大きな実を 結ぶ創生予算を問う

おおひら いさむ 大平 勇 議員  
さかぐち ひでお 坂口 秀夫 議員  
ほりばた おさむ 堀端 脩 議員  
のろ かずお 野呂 一男 議員  
なかむら よしこ 中村 良子 議員  
やまもと よしひろ 山本 芳敬 議員

### 松阪市の財政状況を知りたい

Q 新年度予算編成上のポイントと市の財政状況を三重県内各市と比較すればどのくらいの位置か。

A ポイントは①31年度を含む3カ年を集中投資期間として、大型事業を初めとする未来への投資。②人口減少となる将来への負担ではなく、合併特例事業を短期償還し、次世代に負担をさせない。

③総合計画で事業には、一般財源の予算配分に特別枠を設け円滑に進行することに配慮した。

### 松阪を含めた南三重地域によるUターン施策に期待！

Q 県外の大学からの就職となると大手や個性ある企業との人材争奪戦となる。企業の魅力だけでなく、地域の魅力を発信してUターン施策につなげて欲しいと考えるがいかがか。

A Uターンはまず郷土愛の話になると思う。自分の生まれ育ったところで生活したいというのがある。仕事だけで人生を選んでいるのではなく、趣味とか、やりがいとか生きがいなど多様な生き方を模索している。我々の地域が提供できるかどうかといったところが一つの大きなポイントになってくる。



財務状況の指数として、経常収支比率は県内3番目、公債費負担比率は2番目、実質公債費比率は2番目と健全財政。

### 自治会住民協議会、公民館等の組織が一体化になると自治会は神社に 関与する事、議員推薦する事は条例違反になるが

Q 自治会は会費を徴収し自助・互助の任意団体である。一方、住民協議会は公金投入で公助である。条例5条で宗教と政治は

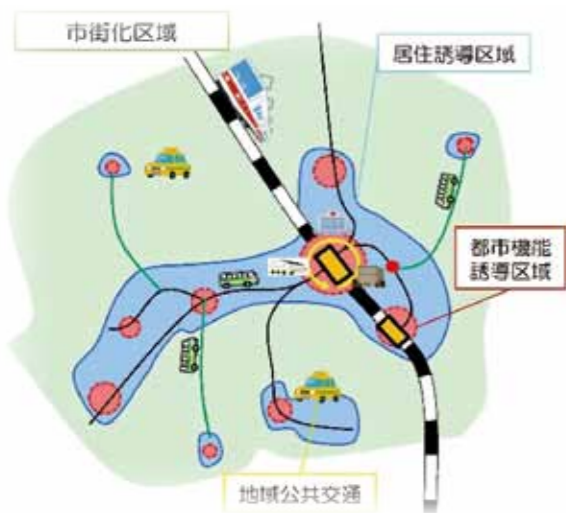


禁止事項で、一体化になれば自治会は宗教と政治にタッチできないが。

- A 包括的予算にして地域の皆様が使いやすい思いを込め一本化一元化した。31年度議論を進めて方向を決めていく。

## 都市計画マスタープラン 中間見直し視点

- Q 中間見直しでは、立地適正化計画の策定と、住民協議会が策定した地域計画を反映した地域別構想の見直しとあるが、どう取り組むのか。



▲立地適正化計画制度のイメージ図

- A 立地適正化計画では、持続可能な都市経営を実現するためコンパクト+ネットワークのまちづくりを推進する。  
地域別構想は、住民協議会の地域計画と整合性を図りながら、土地の利用方針、施設方針、農地など環境に関する方針を地域別に示した。

## 地域包括ケアシステムの 取り組み

- Q 在宅医療となった場合、市民は大きな不安を感じている。他市では心配事、不安事を相談できる取組や、在宅医療・介護あんしんブックなど在宅医療・介護資源など紹介しているが松阪市の取り組みは。
- A 平成30年4月、松阪地域在宅医療・介護連携拠点<sup>が</sup>専門職の相談機関としてスタートした。今後、相談業務を強化してい

く。在宅医療・介護あんしんブックは、何らかの形で情報発信を考えている。



▶市が2017年3月に発行した「在宅医療を考える」

## 森林環境譲与税の状況と 林業支援センターの活動に 期待する

- Q 森林環境譲与税の分配対象となる森林をどの程度見込んでいるのか。  
昨年度林業支援センターが設置され林業への支援が強化されたが取り組みは。
- A 3年間の交付額は毎年4,927万円で、20年間手入れがされていない杉、檜の人工林約1万7千haが対象である。  
担い手育成等幅広い森林管理に努める。  
林業支援センターは森林組合との連携で地域の林業・木材産業関係者と共同しながら、山側の林業対策、地域材利用拡大に向けた両輪で鋭意進めていく。



▲地域材の利用促進等、木材の需要拡大に特化した施策に取り組むため設置された松阪市林業支援センター（笹川町）



▲倒壊や衛生上問題のある不良空き家

## 危険と衛生上極めて問題のある 不良空き家の除去対策は

- Q 国の指針が出て5年で具体的な対策と相談窓口の更なる周知を。
- A 調査等で空き家棟数は3,109件、その内住めない空き家は758件で、周囲に危険を及ぼすような空き家等の解消施策を5年計画で進める。  
相談窓口を新設し、304件で前年度の3倍。行政書士団体に空き家所有者等を依頼。補助金制度を創設し、危険・衛生上問題がある空き家を減らしたい。

## 超高齢社会対策検討委員会の 設置目的は

- Q 超高齢社会対策検討委員会の目的は。
- A 市の高齢化率は、29%で、既に超高齢社会に突入している。これまで前提としていたサービスのあり方を根本的に見直し、時代の状況と地域の実情に即した市民サービスを継続して提供できる仕組みを構築できないか、検討委員会を設置して、超高齢社会に対応するための施策を長期的な展望を踏まえ検討していただき、持続可能な高齢社会につなげていきたい。約2年間の議論をいただき、次期総合計画に盛り込んでいきたい。

## のりめん 市道法面の草刈・除草

- Q 今後、世代交代が進むにつれ、草刈・除草作業は調整区域において、地域や個人での作業が出来なく恐れがあるが、どのように取り組んでいくのか。
- A 全ての草刈・除草対応を市が実施することは困難であり、地域の皆さんにお願いをしている状況である。今後も引き続き、地域の皆さんの協力とお願いをするとともに、どのような対応がふさわしいのか、研究課題の一つととらえている。



▲歩行や通行のさまたげになる市道法面に生い茂る雑草

## 子ども教育に必要な学力

- Q プロジェクトチームと教員の授業力向上の努力はわかったが、平均正答率が全国に及ばない教科もある。そこで、新年度に向けた取り組みは。
- A 松阪市こども支援研究センターにおいて新学習指導要領に示された授業の実現に向けた研修講座を開いて、実際の授業を参観して、実践から学ぶ英語教育のモデル校事業等、教育の実践的指導力の向上を図る研修を行っていきたい。



## 幼稚園、保育園における職場環境

- Q 31年度の保育園正規保育士必要数と幼稚園の必要数と確保状況を問う。
- A 保育士の必要数は288人で、正規保育士は154人、再任用保育士9人、第一種非常勤職員87人、第三種非常勤職員74人、短時間専門非常勤職員28人体制となる。幼稚園の必要職員数は105人で、内正規職員は53人、非常勤職員は52人。
- Q 幼稚園では非常勤職員が半数を占める。非常勤職員が担任として正規職員と同じ職務にあたって頂くことになる。これらの方々は期末手当も昇給もなく保育、教育に当たって頂くことになる。今後の改革、改善を問う。
- A 地方公務員法改正により、2020年4月より、会計年度任用職員制度を導入する。同一労働、同一賃金の趣旨に基づき

非常勤職員に対し期末手当支給、経験年数に応じ賃金支給するよう早くて6月、遅くとも9月定例会に条例案上程をと現在制度設計を行っている。

## 防犯カメラの設置

- Q 市は、今年度から防犯カメラに関する取り組みを行っているが、今後の見通しと方針についての考えを聞きたい。
- A 潜在的な需要はまだまだ高いと考えている。この事業を通じて、犯罪の解決といった直接的な効果だけでなく、防犯の芽をつむ効果、抑止力の向上にも努めていきたい。



▲地域の安全対策の助けとなる防犯カメラ



▲窓口母語スタッフのお二人

状況を踏まえる中で、窓口体制の見直しについての必要性を判断する。

- Q なぜ松阪市は大人のための日本語教室を開けないのか。
- A 日常生活の中で必要となる日本語を習得されることが望ましいと考える。教室については現状通り民間を紹介する。
- Q 日本語指導が必要な児童生徒は松阪市には何人いるのか。
- A 275人である。
- Q 先生を増やしてもらえる予定は。
- A 教材の開発などを研究指定校で行って、広く普及していきたい。

## フルマラソン事業とスポーツツーリズム

- Q マラソン事業に経済効果を期待するのは当然であり、それが無いことには2年目から理解を得ることが難しくなる。スケートパーク、フルマラソン、国際ヨガデー三重、アウトドアスポーツなど、全てを含めたスポーツツーリズムを考えていく必要



▲中部台運動公園で開催された国際ヨガデー三重2018

があるのでは。

- A 国の方において、心身の健康と子どもの成長の観点から、極めてこのスポーツツーリズムの果たす役割は大きいという発信がある。
- 意見 子どもだけでなく、スポーツの力で松阪がさらに大人も含めて元気いっぴいのまちになればと思う。

## 名古屋須川流域の床上浸水被害の解消と軽減

- Q 名古屋須川の鉄道上流部、春日川の合流箇所が課題と考える。どのように対応されるのか。
- A 河川の流下能力を向上させる必要があり、名古屋須川の鉄道上流部の堆積土砂を撤去し、通水能力を向上させる河川掘削工事を行う。その後、鉄道から春日川合流部までの区間について、河川改修工事、護岸整備工事などを順次実施し、合流部においては名古屋須川の水位を下げる対策を行う（延長640m）。
- Q 地元住民への周知は。
- A 4月中旬頃に県と共同で住民説明会を開催予定。名古屋須川は鉄道上流部と下流部に分けて開催。愛宕川は4月中旬に予定している。



▲名古屋須川・春日川の合流部

### その他の質問事項

- ・自衛官募集についての松阪市の対応
- ・障がい者雇用
- ・キャッシュレス決済
- ・松阪地域定住自立圏共生ビジョン
- ・自治体総合アプリ

## 市民クラブ

### 4年目の竹上丸は、市民の幸福感をどうとらえるのか

くすたに 楠谷さゆり 議員  
なかしま きよはる 中島 清晴 議員  
たちばな だいすけ 橘 大介 議員



## 超高齢化社会において介護予防事業の拡充を望む

- Q 介護認定が付くまでが健康寿命、平均寿命から健康寿命を引いたのが障がい期間と言われるが、松阪市の障がい期間が長い理由をどのように分析するのか。
- A 県下の他市と比較しても1、2番目に障がい期間が長い状況。要介護認定者数は、1万952人であるのが、2025年には、1万1,971人に増加する見込みである。
- Q サロンは松阪市にいくつあるのか。

- A 社会福祉協議会の把握で138カ所あり、他にもたくさんあると思われる。
- Q 自発的な活動を支援する仕組みは。
- A 運営委託や開設の補助がある。
- 意見 ボランティアの確保にも協力を。

## 多文化共生社会への実現に向けて

- Q 4月からの改正入管難民法により、今後見込まれる変化への対応は。
- A 今後の外国人住民の動向や相談対応の



言うてんか!

聞いてんか!

第12回

# 議会報告会

開催しました!



4月16日(火)・17日(水)・19日(金)の3日間、市内12会場で、第12回議会報告会を開催しました。3日間で241人の方が参加していただき、市議会議員との活発な意見交換を行っていただきました。次回開催は、秋頃を予定しています。

開催日	開催場所	参加人数
4月16日(火)	第一公民館	19
	神戸地区市民センター	14
	松尾地区市民センター	12
4月17日(水)	茅広地区市民センター	34
	松ヶ崎地区市民センター	26
	西黒部地区市民センター	33
4月19日(金)	伊勢寺地区市民センター	33
	射和地区市民センター	24
	中川コミュニティセンター	14
	小野江コミュニティセンター	11
4月19日(金)	飯南コミュニティセンター	10
	飯高老人福祉センター	11
	計	241

## 議会報告会アンケートから

参加者の皆さまからいただいた感想の一部です。  
(原文から一部抜粋して引用)



▲第一公民館会場

### ■茅広江地区市民センター■

色々質問が出たが、返事があまりない。次の開催時にまず先に回答した方がいい。  
【60代男性】

### ■西黒部地区市民センター■

初めての参加で良かったです。  
【60代女性】

### ■松ヶ崎地区市民センター■

議会報告会以外にも現地視察を実施していただき、当地の状況を知っていただきたい。  
【70代男性】

### ■伊勢寺地区市民センター■

今回初めて報告会に参加しました。特に財政難について、十分理解できていないと感じた。今後、様々な情報を元に関心を深めていきたい。  
【60代男性】

### ■伊勢寺地区市民センター■

会場が対面形式では意見がでないの、円卓にしてはどうか。  
【60代男性】

### ■射和地区市民センター■

なかなかむずかしい内容であるが、意見交換によって問題点とか要望等があり、参考になった。  
【60代男性】

### ■中川コミュニティセンター■

・参加者が少ないのが残念。  
・PR方法は検討してほしい。  
【50代男性】

### ■飯高老人福祉センター■

全体的に意義がある会であった。  
【60代男性】

### ■飯高老人福祉センター■

広域な松阪市全体で大好きな飯高町を軽視されてはいかんと思ひ、参加した。とにかく課題は、学校の存続と移住促進です。学校・住居・仕事場がセットで得られる窓口があればいいと思います。  
【30代女性】



▲神戸地区市民センター会場



▲伊勢寺地区市民センター会場



▲飯高老人福祉センター会場



# 主な 質疑応答

参加者の皆さんからいただいたご質問の一部（要約）です。

## 第 1 部

### 財 政

参加者

前年比5.9%の40億円ぐらい予算増となっているが、主な新規事業や終了事業の明細と理由は。【西黒部】

議員

合併特例債を使うため、投資的事業が多い。また財政調整基金より債務を返済していく予算編成であるため予算増となっている部分が多い。新規事業としては小中学校にエアコン整備、トイレ改修、鎌田中学校新築、北部学校給食センター等学校関係が多くある。

### 防災・減災

参加者

防災・災害対策、床上浸水対策5,000万円の使い道を知りたい。榎田川は対象となっているのか。【飯南】

議員

土砂の撤去や河川の拡幅、ポンプ場の整備等。2級河川名古須川や金剛川等が、豪雨によって床下・床上浸水が起きている。海岸側から拡幅をしていかなければいけない。県との協力の下、行ってきたが、財源のこともありなかなか進展はなかった。ポンプで排水をする対策もしてきた。榎田川については、国の予算が中心となる。



### 地域包括ケア

参加者

各地域の包括支援センターでの取り組みに格差がありすぎる。地域性があるというのは理解しているが、できる限り地域差は小さくすべきではないか。【松尾】

議員

始まったばかりの事業であり、議会としても地域の声を聴き、研究を重ね継続して協議して行く。

### 子ども支援

参加者

保育園待機児童対策で、現在の待機児童は。【第一】



議員

今年度4月1日では、待機児童はゼロである。しかし、新たに発生したゼロ歳児等の待機児童はある。31年度においては、新たに定員が220人増員される増設等が行われる。

### 上下水道事業

参加者

下水道事業について、当初計画は平成40年までに下水道事業費2,000億円と聞いた。その後の経緯は。【第一】

議員

今回、計画見直しが行われたが、これは人口減少に伴うものと、設備計画の財源見直しによるものである。これにより、950ヘクタールの地域が除外され、総額520億円の経費削減がなされた。しかし、場合により、今後計画地域の再検討もある。

## 第 2 部

### 『住みよいまちづくりについて』

### 総務（防災）

参加者

当地区もまちづくり協議会を中心に避難訓練等をしているところである。避難タワー建設は最優先課題であり必要と思われるが、議会には議会改革特別委員会があり、政策提言に向けた議論をされているが、防災政策なども含め、新たな政策について議会全体として議論していただきたい。【射和】

議員

過去にはごみ処理関係の特別委員会や、図書館改修での特別委員会の設置も行っている。現在は地域医療と市民病院のあり方に関する特別委員会を設置しており議論している。課題については各常任委員会でも活動をしている現状にある。重要な課題として受け止めており、常時皆さんの意見を聞いてどう理事者への提言につなげていくかシステムづくりを検討したい。

### 総務（財政）

参加者

自治会からの要望事項について、予算の都合上、たくさん出してもらってもできないなどの返答が来るが、議員としてはどのように考えているのか。【松尾】

議員

自治会からの要望事項については、市の予算上、子供のための安全対策や、地域の防災・減災が優先されるものだと理解している。また、自治会連合会や住民協議会の中で協議し、優先順位を決めて要望していくことも大切なことだと認識している。

### 総務（総合窓口）

参加者

市役所での申請や相談に行ったとき、あまりにも各課の所在が屋外に散在していて、非常に不便を感じる。この状態を考える必要があるのではないか。【松ヶ崎】

議員

現在、「豪商のまち」立地適正化計画を推進している中で、公共施設の整備も含まれている。観光交流センターの整備、福祉会館の整備もそれにあたる。

長期的なスパンとなるが、本庁舎の裏側の民地を市有地として確保した。これらの土地を活用して今後、市民の利便性を念頭に整備を考えている。

### 議会（議会報告会）

参加者

議会報告会について、せっかくやってももらっていても、なかなか若い方や女性の方が参加してもらいにくい状況と思われる。せっかくの機会であるので、日時の設定等も含め、再協議してほしい。【射和】

議員

地域で太陽光発電の事業者が増えてきており、農地が虫食い状態である。また、事業者の把握が難しいため、他市では課税逃れのような案件もあったと聞く。市の問題意識はどうか。【茅広江】

### 地域づくり（人口減少対策）

参加者

飯高に生まれ育ったものとして、今後、飯高がどうなるのだろうと思う。近所の人と話をしている、10年後はこの地域に誰もいなくなるのではと不安でさみしくなる。議会において、人口減少に対する具体的な議論はあるか。【飯高】

議員

重大な課題であると行政も議会も受け止めており、先進地の取り組みや状況を研究している。空き家バンクや若年者の新規就農への支援、3世代近居同居支援などの取り組みはあるが、まだまだ研究中である。



### 議会（トリセツ）

参加者

小学生にもわかる内容の「松阪市議会のトリセツ」を作られたが、子ども達や市民からどのような反応があったか。【伊勢寺】



議員

税金の使い道を最後に決定するのは議会であり、その議会に市民が注目することは大事である。市民の方からは新鮮に感じいただき意義があった。小学校6年生のお子さんからも、「これから議会議をみていきたい」というお話も伺っている。

議員

開催時期や時間帯、曜日など、まだまだ改善をしていかなければいけないと思っている。広報広聴委員会で随時協議、研究をしているところであり、しっかりと受け止めさせていただく。

議員

非常に重要な問題だと認識している。ただ太陽光発電は自然エネルギーで否定するものではない。乱開発によるメガソーラなどは問題がある。他市では報告義務などの条例をつくったりしている。市は可能な限り行政指導をやっている。



# 平成30年度 行政視察の 受入状況



松阪市議会では、全国各地の自治体議会からの行政視察調査を積極的に受け入れています。  
平成30年度に松阪市を行政視察調査のために訪れた各自治体の議員及び職員は188人、自治体議会数は27団体でした。市が現在行っている各事業の内容などについて視察されました。

NO	月日	自治体名	人	調査事項	担当課
1	4月24日	北海道札幌市	14	松阪市クリーンセンターと松阪新電力㈱の取り組み	清掃施設課・環境課
2	4月25日	奈良県桜井市	1	おくやみコーナー	戸籍住民課
3	5月8日	愛知県豊田市	2	おくやみコーナー	戸籍住民課
4	5月9日	栃木県足利市	4	松阪市クリーンセンターと松阪新電力㈱の取り組み	清掃施設課・環境課
5	5月10日	北海道江別市	8	議会改革の取り組み	議会事務局
6	5月11日	神奈川県伊勢原市	9	歯と口腔の健康づくり推進条例	健康づくり課
7	5月14日	鳥取県鳥取市	11	自治体病院の運営・あり方調査特別委員会	市民病院
8	5月22日	福岡県福岡市	1	おくやみコーナー	戸籍住民課
9	5月29日	岡山県岡山市議会	7	松阪新電力㈱	環境課
10	7月12日	山梨県南アルプス市	3	地域ブランドを生かしたまちづくり	地域ブランド課
11	7月13日	栃木県栃木市	7	ベルファームの取り組み	農水振興課
12	7月18日	東京都あきる野市	8	議会改革の取り組み	議会事務局
13	7月19日	山形県米沢市	10	松阪牛をはじめとする畜産の振興	農水振興課
14	7月24日	鹿児島県日置市	9	議会改革の取り組み	議会事務局
15	7月26日	新潟県三条市	7	松阪市クリーンセンターと松阪新電力㈱の取り組み	清掃施設課・環境課
16	8月2日	三重県亀山市	3	スケートパークの整備	土木課
17	8月22日	宮城県大崎市	9	手話施策	障がい福祉課
18	10月25日	富山県砺波市	7	松阪市民病院の運営	市民病院
19	10月31日	京都府久御山町	2	店舗改装支援事業	商工政策課
20	11月5日	静岡県吉田町	8	コミュニティ交通	商工政策課
21	11月13日	北摂市議会(豊中、摂津、吹田、池田、茨木、箕面、高槻市)	23	議会改革を含めた議会運営全般と公共施設見学	議会事務局
22	平成31年1月25日	埼玉県戸田市	5	まつさか版ネウボラ	健康づくり課
23	1月29日	愛知県名古屋市	1	おくやみコーナー	戸籍住民課
24	1月30日	三重県尾鷲市	11	議会報告会	議会事務局
25	2月1日	埼玉県八潮市	5	松阪農業公園ベルファーム(現地視察)	農水振興課
26	2月6日	鹿児島県始良市	11	議会改革の取り組み	議会事務局
27	2月7日	山口県光市	2	おくやみコーナー	戸籍住民課
計			188		

# 平成30年度 政務活動費の 執行状況

■交付の趣旨  
政務活動費は、松阪市議会議員の政策立案及び調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付しています。

■交付の対象  
松阪市議会における会派及び会派に所属しない議員に対して交付しています。

■交付額  
会派の所属議員数に月額25,000円を乗じて得た額(会派に所属しない議員は月額25,000円)を交付しています。

## 平成30年度(4月分～3月分)

(単位:円)

科目	会派名	真政クラブ 4月～12月 (8人) 1月～3月 (6人)	政志会 4月～9月 (7人)	松政会 10月～3月 (5人)	無所属の会・ みらい 4月～8月 (4人) 9月～3月 (3人)	公明党 3人	日本共産党 3人	市民クラブ 3人	しなと会 1月～3月 (3人)	会派に所属しない議員			合計
										深田龍 9月～12月	沖和哉 10月～3月	濱口高志 10月～3月	
交付額		2,250,000	1,050,000	750,000	1,025,000	900,000	900,000	900,000	225,000	100,000	150,000	150,000	8,400,000
支出	研究研修費	32,000	32,240	562,664	481,048	169,560	140,544	71,608	0	4,000	129,944	0	1,623,608
	調査研究旅費	1,108,350	1,003,521	2,310	0	0	0	661,930	40,410	0	0	0	2,816,521
	資料作成費	0	0	0	778	0	0	0	0	0	0	0	778
	資料購入費	14,508	4,320	12,600	84,562	28,620	64,740	11,280	4,800	0	19,193	17,448	262,071
	事務費	88,470	9,919	20,590	40,537	40,333	34,708	10,041	29,645	0	4	15,089	289,336
支出合計		1,243,328	1,050,000	598,164	606,925	238,513	239,992	754,859	74,855	4,000	149,141	32,537	4,992,314
残額		1,006,672	0	151,836	418,075	661,487	660,008	145,141	150,145	96,000	859	117,463	3,407,686

※会議費、広報費、その他の経費は支出がありませんでした。  
 ※政務活動費の残額3,407,686円については、松阪市に返還されました。  
 ①深田龍は、4月分～8月分は無所属の会・みらいで、9月分～12月分は個人で、1月分～3月分はしなと会でそれぞれ精算  
 ②赤塚かおり、植松泰之は、4月分～12月分は真政クラブで精算し、1月分～3月分はしなと会で精算  
 ③沖和哉、濱口高志は、4月分～9月分は政志会で精算し、10月分～3月分は個人で精算





# 6月定例会の開催日程 会期22日間

日	月	火	水	木	金	土
6月9日	10	11	12	13 議会運営 委員会	14	15
16	17	18	19	20本会議 (議案上程) (提案説明)	21	22
23	24	25本会議 (議案質疑) (委員会付託)	26	27 本会議 (一般質問)	28	29
30	7月1日 本会議 (一般質問)	2	3 本会議 (一般質問)	4 委員会 (環境福祉) (文教経済)	5 委員会 (総務企画) (建設水道)	6
7	8	9	10	11 本会議 (議決)	12	13

本会議は市役所3階市議会議場で、委員会は2階市議会委員会室で開催します。  
 いずれも午前10時から開催しますので、皆さんの傍聴をお待ちしております。

## 一般質問

議員が市長に対し、市の一般事務の執行状況や、将来に対する方針などについて、議員一人当たり50分(答弁時間含む)の時間制限の中で質問をします。



今月号の表紙は、松阪工業高校繊維デザイン科卒業生栗山千波さんの「純」。2018年度卒業制作の作品で、少年少女と宝石を組み合わせ、内面に秘めた輝きを描きました。背景の色彩も気に入っています。

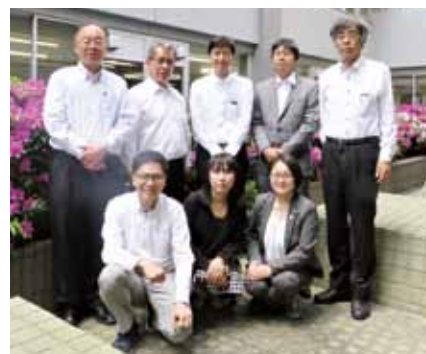
## 編集後記



「令和」が災害のない平和で幸せな時代になるようお願い「みてんか」第75号をお届けします。今号では表紙に「CONTENTS」をあらわし内容がわかりやすくなるよう工夫しました。2月議会の取り組みを知っていただきたい思いと、関心が高かった内容等も掲載をしています。

皆さまからのご意見、ご感想等もお寄せくださいますようお願いいたします。

広報広聴委員長 松岡 恒雄



### 広報広聴委員

【後段 左から】

海住恒幸 堀端 脩 松岡恒雄  
 (副委員長) (委員長)

松本一孝 中島清晴

【前段 左から】

橘 大介 赤塚かおり 殿村峰代